

取材先	日本ボーイスカウト山口県連盟 下関第11団		
企画名	ボーイスカウトとあそぼう！自然体験あそび		
備考			
取材日	2022年10月16日(日)天候[晴れ] [13:00~15:00]	取材地	下関市深坂自然の森

「日本ボーイスカウト山口県連盟 下関第11団」は、幼稚園の年長から大学卒業までの年齢の青少年を対象とし、社会から信頼される「より良き社会人」を作ることとして活動がされています。

今回、子ども達に自然体験の機会を提供しようと考えられたこの企画は下関地区が担当し、宇部、小野田を含む西部地区協議会主催で開催されました。

ビーバースカウト（小学1～2年生）カブスカウト（小学3～5年生）が約40名参加されており、どんぐりや松ぼっくりなど自然の素材を用いたクラフト作成やストラックアウト、的当てゲーム、触感ゲームなどのアクティビティを通じて自然と関わることの楽しさを学んでいました。

このような段階を踏み、ボーイスカウト（小学6年生～中学3年生）になると異年齢の子どもが集まる小さなグループ活動を通じて、それぞれの自主性、協調性、社会性を身に付けるプログラムになっていき、ロープ結びなどの練習、キャンプ生活の基本などの野外活動を中心に様々なことを学んでいくそうです。

今回の取材を通し、子どもの頃から自然とのふれあいの中で生きる力を育てていくこのような経験は、人格形成において大切な要素の一つになるのではないかと感じました。

レポート

状況写真



まつぼっくりストラックアウト



内藤氏 清藤氏



自然素材を使って作ってみよう



的当てゲーム





